1966
8 月 号
No. 153
編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
境町 佐藤印刷所

広報 さめがわ

8月の人口と世帯
人口 7,395 (+1)
男 3,676 (+4)
女 3,719 (−3)
世帯数 1234(0)

家庭生活を楽しいものに
親子関係の在り方を考えよう

県では毎月一回、第三日曜日を「家庭の日」として家族全員が話し合いやレクリエーションを実施して、家族間の意志そ通をはかり明るく楽しい家庭をつくりあげましようと県下の各家庭に呼びかけています。

この運動は、健全な青少年を育てるためには人間形成の基盤である家庭環境を良くすることが必要である、と全国的に県が主体となつて進められている運動です。本県では青少年対策室が中心になり各福祉事務所が普及機関として各市町村をとおし各家庭に趣旨の普及をはかつています。

本号では県の資料により家庭をめぐる諸問題のうち親子夫婦関係の各種の型を招介します。皆さん方はどの型ですか、改めてふりかえつてみる必要がないでしようか。

子どもに対する親の態度

子どもに対する親の態度として、常に次の三点を反省してみる必要があります。

◎愛情と心のあたたかさはどうか。
◎強制や支配の程度はどうか。
◎しつけは一貫しているか。

ここで、一般にいわれている「問題のある親」の型について、少しふれてみましよう。

あまやかし型

これは、子どもから欲しいといわれたものは何でもすぐ与えてやるような甘やかしやかばい過ぎる過保護の型であります。子どもをあまり甘やかしたり、かばい過ぎたりしますと、いつまでも親を頼りにし、依存心の強い、わがままな子どもとなつてしまい、抵抗力の弱い、自主性の乏しい、忍耐力のない人間となつてしまいます。

がまんするとか、他人の身になるとか、他人にゆずるというようなことを教えないで子どもを育てて行くことは、子どもの将来にとつて、きわめて不幸なことです。

ガミガミ型

これは、むやみやたらと頭ごなしに子どもを叱りつけるやかましい型です。子どもにとつてみれば「何、ガアガア聞こえるだけで、何を叱られているのかさつぱりわからない」ということにもなります。したがつて、これは決して正しい意味でのきびしさというものではありません。

この型の親のもとにあつては、子どもが子どもらしい満足や成功の喜びを得ることはできません。子どもは親の圧迫、禁止、おどし、罰などをおそれ、常にビクビクしているようになつてしまいます。

ほつたらかし型

これは、子どもが何をしようと全然かまつてやらない型です。

生育が野放しの状態ですから、人間としての基本的訓練ができておりません。生きものは何でも丹精して育ててこそ、そのものの本質が芽生え伸びて行くものです。人間には十数年の長い丹精の時期が必要なのです。生みつばなしほつたらかしでは人間らしい成長を期待することができません。

最近、非行少年の増加が、社会の大きな関心になつておりますが、かれらはこの放任型の親のもとで育てられた者に多いといわれていることを忘れてはなりません。

子どもが、どんな友だちとどんな遊びを、どんなところでしているかを常に注意する必要があります。

チグハグ型

これは、子どもに対するしつけの方針が、不一致で一貫性のない型です。

父と母の子どもに対するしつけの方針が一致してないばかりか、矛盾している場合すらあります。また、父と母の矛盾ばかりでなく、父にしても、母にしても、その日その日によつて、教えたり、叱つたりすることにくいちがいがあつたりします。こんな場合子どもはいつたい誰のいうことが正しいのか、いつわれたことがよいことなのか判断に苦しみます。そうして場合によつては、子どもにとつて都合のよい方に、あるいは都合のよいことに調子を合わせるといつた、かげひなたのある態度をとらせてしまうことにもなるのです。

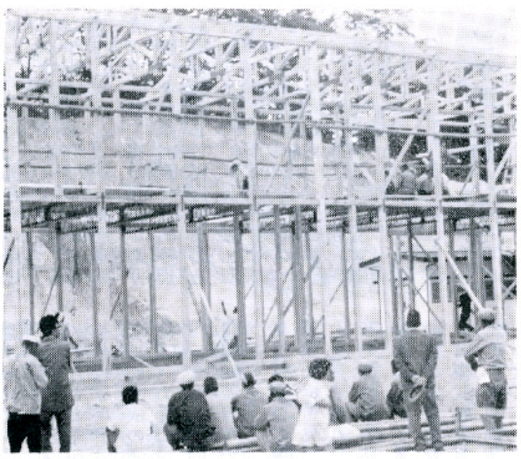
家の人みんなの態度が一致し、しかもそこに一貫性が保たれていなければ、健やかな子どもの育成にとつて大きな障害になりかねません。

——○——

このほかに「いろいろな夫婦の型」がありますが紙面の都合で次号に招介します。



台風シーズンを前に、郡の水防演習が、畜産センター裏の鮫川沼岸で行われました。写真は「木流し」の工法を行う郡内の水防団員。



青生野小学校の第2期工事は予定どおり進み、8月1日に上棟式を行いました。地元の人たちも多数参加し、にぎやかに進行を祝いました。

中川西会長再選

農業委員会では七月二十五日に選挙後初の委員会を開き次の役員を互選しました。

会長…中川西金之助（推せん）　副会長…須藤栄恭（推せん）　県委員…斉藤一男（選挙）　農地小委員長…鈴木公義（選挙）　振興小委員会…水野芳光（選挙）

なお八月五日に棚倉町県東白川事務所で開かれた県農業会議六号会議員推せん会で、石田村長が推せんされ、本村としては初めての学識経験者会議員が本郡から県農業会議に出ることになりました。

お願い

前号でもお知らせしましたが新しい公民館の設備、備品購入費は協力会を通じて村民の皆様方の御協力をお願いすることになり、各区長さん協力委員さん方が組長さんの協力で、寄附芳名簿を持参いたしますので御協賛下さるようお願い致します。

公民館建築協力委員会

御礼

このほど大字西山出身で東京都小平市に住んでいられる水野俊夫さんから、公民館建築に役だてて欲しいと金一封が送金されました。紙上より厚く御礼申し上げます。

村外より御協力下さる方は鮫川村公民館事務局内、公民館建築協力委員会あてにお願いします。

『道路をまもる月間』

この月間は、道路の正しい使い方を国民に周知徹底し、道路の関係行政機関等が利用者及び沿道住民と協力して、国民が道路を広く美しく使用する気運を高めることを目的としています。

「道路をまもる月間」は国土建設に関する行事の一つとして、建設省、県、市町村が主催して、八月一日より八月三十一日まで、この運動を強力に展開することになつております。村でも道路愛護会で八月二十二日、村全域に亘り「夏の道路愛護」作業を実施します。今度は主に、道路並に河川の支障雑草木の刈払に重点を置いていますので、全面的な御協力をお願いします。

尚八月二十六日には、道路関係の代表者の参集を願つて道路関係協議会」を開催し道路環境の整備や交通安全、道路の苦情相談その他について御協議願うことになつております。

―○―

去る八月八日、福島県治山林道協会の総会の席上で、鮫川村の林道維持管理の成績が特に優秀であるという理由で次のような表彰を受けました。

表彰状

東白川郡

鮫川村

林道関口線の維持管理は成績特に優良で他の模範である。よつて今後一層の努力を期待し金一封を贈りこれを表彰します。

昭和四十一年八月八日

福島県治山林道協会長

八田貞義

土木事業の着工

国や県の公共事業早期着工の方針に従つて、八月十八日役場会議室に於て、郡内六業者を指名して、林道や農道橋の入札を行いました。

岩の草林道は、十九万四千円で塙町の東白建設KKが工事を請負うことになりましたが延長九七・五m、巾員三・六mで工期は九月三十日迄に竣工する予定です。

次に前田農道橋の架替工事は一〇〇万円で棚倉町の藤田建設KKが落札しました。

この橋は度々の増水の被害と老朽化のため、多年地元関係者より架替工事の要請があり今般へき地農山漁村振興持別対策事業として実施することになりました。延長一五・四四m巾員三・〇mの新建材によるH鋼桁を使用、鉄筋コンクリートのスマートな永久橋に生れ代り十月三十日迄に竣工することになります。

（産業課）

二ケ所に防火水そう

本村の消防施設は年々整備され先に施設優秀で県知事より表彰されましたが、本年も西野字西地内と西山字沼野沢地内の二ケ所に防火水そうが設けられます。

この工事入札は八月十八日に行なわれ塙町の山本組が、三十七万八千円で落札し十月末日に完成の予定です。工事費は一ケ所につき十八万九千円（うち県補助四万円、地元負担四万円）です。

ポンプ競技会

七月二十八日に塙小グランドで郡内の消防団が参加して開かれたが、本村の成績は次のとおりでした。

可搬式動力ポンプの部

二位　鮫川消防団第一分団

自動車ポンプの部

三位　鮫川村消防団第五分団

台風期を迎えて

災害は忘れた頃にやつてきます。時ならぬ第四号台風（六月）で多くの被害を受けたことは周知のとおりです。多発期を迎えて次の点に注意しましよう。

一、つねに家屋の内外を観察し土砂くずれに備えて予防をすること。もし身の危険を感じた場合は「火の始末」をして、村役場に急報するとともに地元水防（消防）団に知らせて下さい。

二、集中豪雨による増水に備えて障害物となる樹木等は低く切るか、除去しておくなど平常の努力を怠らないようにして下さい。

（水防団長）

防除団の活躍

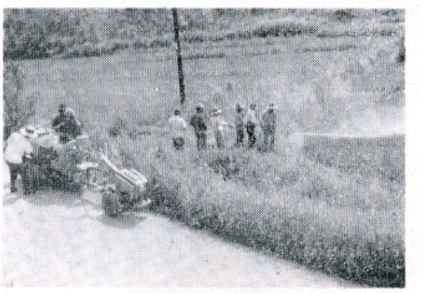
近年農作物の病虫害発生が多く防除に要する経費も年々増えており、労力不足による防除能力の低下とあいまつて対策が要望されていましたが今年度は村、農協、共済組合が協力して請負（委託）防除の指導に力をいれました。

鮫高防除団は共済組合技術職員と鮫高稲葉教諭の指導のもとに、東白農商高鮫川分校農業クラブの生徒全員で組織され、一班十二名で一日の防除能力は十～十五ヘクタール費用は十アール当り二三〇円で、防除にあたつた生徒は昼食持参で委託した農家に負担をかけないようにしました。

分校長の安藤先生は「これで地域に結びついた学校教育ができ、皆さんのお役にたつことができました。今後もこのようなことを通じて農業後継者の教育の場となるよう努力してゆきたい。」と話していました。

委託防除の実施希望者は農業共済組合に相談して下さい。

棚倉税務署廃止さる



このたび、全国的な税務署の機構改正により、棚倉税務署が七月一日より廃止され、白河税務署に統合されました。

今後は棚倉税務署が行つて来た国税の賦課徴収等についての事務は白河税務署で取扱うことになりました。

納税者の方々の便益を図るため、当分の間は棚倉町に白河税務署棚倉分室が設けてあります。

（税務課）

たばこは村内の小売店で

村内の小売店で買つたたばこ代金の一部がたばこ消費税として村の収入となり、いろいろな村の事業費に使用されます。

国有林の活用・その後

村長　石田卯子八

（37）

国有林の本格的な解放を目ざす特別立法の制定は、全国の熱心な運動にもかかわらず国会提案寸前のところで足ぶみしてしまいました。

農相もかわり、松野新農相の就任の際の談話などから察すると、一層むつかしい段階に入るのではないかと危ぶまれます。

もちろんここで停滞を座視すべきではありませんから、一段の努力を加えて目的に進む必要がありましよう。

ところで、わが村の農業構造改善事業の第一次計画ではその用地を概ね国有林に求めて立案され、当時出されていた農林事務次官通達にもとずいて「国有林活用」の線で進められました。

この方法は農業構造改善事業としては、県下初めてのケースで、事務的にはいろいろ困難もありましたが、関係の皆さんから格別の理解と協力を頂き、一応順調に進んできたものと考えます。

即ち、渡瀬牧野、大戸中牧野、青生野養蚕協業、世々麦養蚕協業、青生野和牛協業の事業主体には計一〇七ヘクタール余の国有林が所属替されることに決定しており、草地桑園等の造成もほぼ終り、残る一部も本年度中に終る予定となつております。

また放牧のため共用林として活用される面積は一一〇ヘクタール余が予定され、これも本年度中には確定することになりましよう。

草地、桑園、飼料畑となりまたなる予定の土地は開拓財産として既に国有から県へ移管され、県から事業主体の個人に売渡される形式をとることになります。

開拓財産売渡方式は土地価格も低れんであり、この点では有利な取得方式といえるわけです。

ただ農業構造改善事業という農業基本法の柱となる事業のための用地取得の立法措置がなく、開拓財産所属替方式をそのまま借りて用いる点に問題があり、

1 事業主体であり、しかも国の奨励する協業体に直接所有権の移譲ができないこと

2 造成改良の事業を認可し、施行させながら、国の制度資金がスムーズに流れてこないこと

など、また役所のセクト主義に災され、事務が分散渋滞し、農業者を憤らせる場面もいくどかありましたが、これらの点は速かに法令の改正整備と、事務の執行体制が合理化されることを望んで止みません。

次に放牧共用の形で国と事業主体が共用する国有林の使用形態の問題があります。

この点については

1 原則として立木の全面的伐採を行わない。随つて新植しないこと。

2 山の等高線に添つて牧草帯を設定すること。

3 密林状態で家畜の侵入、野草の利用が困難なところでは三〇m位の間隔に通路を設定すること。

等の要望を営林当局に出しております。このことは全国的にもまだ定説がないのでなお研究してみたいと思います。

議会だより

第九回 議会臨時会

去る八月十二日に第九回議会臨時会が招集されました。会議の結果は次のとおりです。

(1)会期（一日間）

(2)報告事項

イ　例月出納検査結果報告

ロ　陳情書受理（二件）のことについて

ハ　一般村政報告（三件）

ニ　一市二郡議長協議会決定事項の陳情、請願のことについて

(3)議案第三十六号　財政調整基金の一部繰出処分について（原案可決）

これは、災害を受けた東前田農道橋の架替と非常災害のおそれある富田小学校の補強工事と、東野分校保全工事費に充当するため、地方自治法及び地方財政法等の規定に基づき、現在の積立額八、三七八、六〇二円のうち、一、三五六、〇〇〇円を一般会計に繰出処分をするものです。

(4)議案第三十七号　昭和四十一年度鮫川村一般会計補正予算（第三号）（原案可決）

このたびの補正は、議案第三十六号で可決した財政調整基金の繰出処分に係わる、農道橋架替及び富田小学校補強工事と東野分校の保全工事に要する予算の補正、それに緊急飼料作物増産対策事業補助金、防火水槽（二基）新設工事等の補正であり、これで一般会計の総予算額は一億二千五百八万六千円となりました。

（議会事務局）

申告を忘れずに

一割の加算金

木材引取税は、立木（素材）を売買した売主が買主から木材引取税（売買価額の百分の二の額）を受取つて、村に申告納付しなければならないことに定められております。ややもすると売買した時申告納付しないで、村から通知を受けてからようやく申告納付する人があります。このような場合には税額の一割の額を不申告加算金として、税金に加えて納付しなければなりません。

また申告の際に不正な申告をして脱税をすると、三年以下の懲役又は百万円以下の罰金に処せられることに法律で定めてあります。

このように売買の都度申告納付しなかつたり、申告をしても不正な申告をしたりすると、余計な金を納めなければならなくなりますから、立木を売つた方は充分注意して下さい。

現在までに立木（素材）を売つて木材引取税を申告納付されていない方は、今すぐに申告納付されるようお願いします。

（税務課）

婦人学級の役員

このほど自治会を開き次の役員を選びました。

母親学級

▽会長＝須藤マツ子、▽副会長＝星フミ子、大竹日出子、▽庶務＝中川西千代子、▽会計＝鷲野谷リツ子、▽方部役員＝北条君子、関根キミ、矢吹ヨシイ、中川西ステ、吉保和代、蛭田キヨ

主婦学級

▽会長＝芳賀ミツイ、▽副会長＝阿久津ミツ、田中シノ、▽庶務＝松本セツ、▽会計＝矢吹キヨ子、▽方部役員＝矢吹ミチヨ、金沢チヨ子、藤田キミ、矢吹テル

公会堂の思い出 ②

赤坂中野　小松幸一

会合の主なる記憶に残るものは三十八回も続いた農産物品評会、毎年行なわれた恒例の村主催による大福引つき新年祝賀会、大正七年二月二十八日行なわれた東白川郡青年大会（兎狩）、物故者自治功労者追悼会、県下の馬産地として称揚された産駒共進会も農産物品評会と共に行なわれた。県下の納税模範村として表彰され表彰式は盛大に行なわれたものであつた。投票所内に皇大神宮を祭つて礼拝して投票をした庸正選挙、福島県議会議員須藤千代之助当選大祝賀会、憲政会内閣成立大祝賀会、その他各種団体の会合は皆なこの公会堂で行なわれたのであつたが、そのうち青年会の特筆すべきことがあるので思い出してみた。それは雁首事件で青年団主催弁論大会が開かれ式の順序により来賓の祝辞演説となつた。来賓席には村議会議員諸公とその他村内の名誉職各位が、キラ星の如く顔を揃えていたが一人の祝辞をのべる人もなく下ウツ向いているのみであつた。その時に会員から発言があつて「来賓の皆様には、ご多忙の所我々青年ご指導のため御出席下さいまして誠にありがとうございます。御礼を申し上げます。然し本日この大会に来賓として御出席の皆様から一言のお祝もいただけないことは誠に遺憾であります。これだけ雁首を揃えていてなんたることですか」と、大声叱咤した。発言者は日の出新聞社長、現福島県共闘会議長の坂本六良氏の若かりし時であつた。この一言にて来賓席は騒然として総立ちとなつた。村議会議員の故円谷卯吉翁はあの堂々たる体駆に一本の青筋を張らせて、「何をこの野郎若いクセに生意気だ。村会議員をつかまえて雁首とは人を馬鹿にするにも程がある。勘弁出来ない」と大変な事になつてしまつた。こうなると他の来賓も力を得て共に大声を出して収拾のつかない大騒ぎとなつた。円谷議員はこんな馬鹿を相手にしていられないと退場してしまつた。この席に新聞記者として出席していたのが故斉須初吉翁と矢内嘉続の両氏であつた。奇智の斉須翁は「来賓の諸公そうおこるな。俺の言うことを一つきいてくれ。仮に国に大事件が出来たような場合には内閣総理大臣は各元老を集めて相談をする。そのことを鳩首凝議というのだ。鳩首とは鳩の首であるが、雁首とは雁の首で、雁は鳩の上であるから雁の方がえらいのである。決して馬鹿にしたのではない。敬意を表したのだから、そうおこらないで」と説明されたので両者なる程と感心してあわや血の雨かと思われたこの大騒動もチョン。題して雁首事件、大正の大岡名裁きとして今だに斉須翁の奇智が話題として語り伝えられている。

鮫川村公会堂の大看板は当時の東白川郡長須藤信立氏の書である。

来堂したる主なる名士は農商務大臣河野広仲閣下（当時の敬称）棚倉町から二人引の人力車で来村し青年会員が出動して本坂の坂を車の後押しをして上げたものであつた。来堂した記念に肖像を掲揚し「広忠道」の額もある湯の田温泉鈴木旅館の倉庫敷に宿泊したのであつた。

陸軍少将伊豆風夫閣下、幽霊博士で有名な文学博士井上円了先生「楽群」の額あり円谷旅館に宿泊したと記憶がある。代議士大島要三、菅村太事、八田宗吉、金沢安之助各先生福島県知事小柳牧衛閣下、鮫川村では初めての知事来村として道路に砂を引いて沿道は大歓迎であつた。「和致芳」の額がある。

夏ばてを防ぐには

(モ)(メ)(の)(し)(ら)(く)

夏ばてのおもな原因は、ビタミンB1とAの不足だということです。それを補うにはまず油をできるだけたくさんとるようにすることです。

普通、成人男子ではその労働の種類にもよりますが、三十グラム（大さじ二〜三ばい）の油が必要だそうですが、この原則をいくら著くて食欲がなくても、忠実に守ることが夏ばてを防ぐことです。

とりわけ、若い人たちは、水泳、登山といったはげしい運動をしますから、カロリーが不足しがちです。少量で、胃の負担にならない油を十分にとることが大切ということになります。

お米などのでんぷん質の食事を多くとると、それが十分燃えるのにビタミンB1がたくさん必要なそうです。ところが油ならば不要で、たいせつなB1の節約になります。

次に油といつしよに、カロチンの多い有色野菜（にんじん、ピーマン、葉とうがらし夏だいこんの葉、しそのみ、くりかぼちや、レタス、トマト）などをたべれば、カロチンの吸収がよくなります。このカロチンは体内でビタミンAになり、体力増進に役立ちます。とくにビタミンAは伝染病に対する抵抗力を増加させるそうです。

結局、油、有色野菜、牛乳たまごなどをたつぷり食べていれば、からだがだるいとかねむくて頭がぼんやりするといつた夏ばては十分ふせげるということになるわけです。



製作にはげむ鈴木画伯

石田村長を会長として発足した「鮫川百景の会」は昨年の文化祭に三十余点を出品し好評でしたが、本年は七十点以上の出品になるので鈴木画伯は、日展出品の大作の制作のかたわら、たびたび郷土を訪れ村内各地の勝景をスケツチしています。今秋は昨年にまさる名画の出品が期待されています。

写真は酷暑のなかでスケツチをつづける画伯。石井草地内にて

告知版

県大会で三位

七月二十四日に郡山市開成山グランドで開催されたNHK中学校放送陸上競技大会に参加した、鮫中の鈴木チズ子さんは走巾跳で四米九六の記録で県三位に入りました。これは東白で始めての入賞です。その他の参加選手の成績は次のとおりです。

▽六十米　大池律子（予選失格）▽二百米　小山田圭子（予選失格）▽四百米リレー　武川、大池、石井、蛭田（予選失格、補欠…前田、佐藤）

この大会に鮫中の父兄十余名が応援に参加しました。

八月三日に同じ場所で開かれた県綜合大会に参加した鮫中テニス部（石井初代、円井マチ子）は、郡山市中野中学校と対戦したが初参加のため固くなり四対一で惜敗しました。橘小学校で開かれた剣道には江原真一君が参加し一回戦で敗れました。

青生野分会が優勝

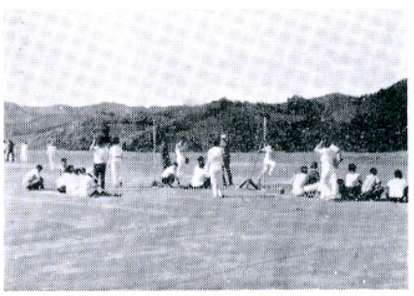
村青年会主催による第四回体育レクリエーション大会は七月三十一日に六分会の会員百余名が参加して、村民運動場で開かれ、各種目に平均した力をもつ青生野分会が昨年にひきつづき連続優勝。準優勝は富田分会でした。各種目ごとの入賞者は次のとおり、カッコ内は所属分会です。

男子

▼百米①金沢一四（東石）②石塚留蔵（青生野）③市川甲子男（東石）▼四百米①加藤進二（青生野）②中川西元義（富田）③大竹元一（青生野）▼千五百米①中川西元義（富田）②佐川進一（東石）③森田俊一（青生野）▼五千米①堀川信四郎（青生野）②佐川一郎（東石）③森田俊一（青生野）▼走巾跳①生田目定之助（富田）②金沢四一（東石）③市川甲子男（東石）▼走高跳①我妻佐利（西山）②関根英也（西山）③青戸代吉（富田）▼砲丸投①関根英也（西山）②松本哲明（富田）③藤田昇（青生野）▼三段跳①生田目定之助（富田）②青戸代吉（富田）③宗田豊（東石）▼スエーデンリレー①富田分会②青生野分会③東石分会

女子

▼百米(1)水野セツ子（東石）(2)我妻礼子（西山）(3)山形ハツ（青生野）▼六十米(1)藤田マツヨ（青生野）(2)三瓶ナミ子（青生野）(3)須藤〆子（富田）▼走巾跳(1)岡部未子（育生野）(2)水野セツ子（東石）(3)須藤〆子（富田）▼走高跳(1)白坂栄子（西野）(2)我妻玲子（西山）(3)関根アキ（西山）▼砲丸投(1)白坂栄子（西野）(2)生田目秋子（青生野）(3)岡部スイ子（富田）▼スエーデンリレー(1)青生野分会(2)西野分会(3)西山分会



なお八月二十七、八日の二日間にわたり福島市内で開かれる県体育文化交歓祭に、各種目の優勝者のほかソフトボール、バレーボール（男女混合）の団体競技に参加します。

鮫高野球部 準決勝で惜敗

七月二十四日に須賀川市で開かれた県高校定時制球技大会に、鮫高は野球、ソフト、卓球、バレーの各種目に参加し野球とバレーが三位に入賞しました。健闘した野球の成績は次のとおりです。

(1)鮫川高3――0矢吹高
(2)鮫川高2――0白河二高
(3)鮫川高3――4郡山工

郡選技大会に参加

七月二十四日に棚倉町城跡グランドで開かれた佐川県議杯争奪野球大会に参加した本村チームは、一回戦で優勝した棚倉町商工会チームと対戦し3対2の一点差で迎えた最終回に、一死満塁と攻め寄りましたがダブられて得点にならず惜敗しました。

鮫川郵便局提供

郵便料金と郵便物の種類体系等の改正について（三）

(2)第二種郵便物（はがき）

年賀状の低料扱いが廃止されます。したがつて寄付金つき年賀はがきは七円で寄付金が加算されます。

なお、はがきの大きさを今回の改正を機会に、従来縦一四センチ、横九センチから、縦一四・八センチ、横一〇センチに大きくします。

(3)第三種郵便物（定期刊行物）

認可の審査期間を一部変更したほか、次のものは第三種として許可しないことになります。

ア　会報、会誌、社報など当該団体または団体の構成員の消息、意見等の交換などを主な目的とするもの。

イ　広告が全体の印刷部分の五〇パーセント以上のもの。

ウ　一回の発行数が一〇〇〇部にみたないもの。

(4)第四種郵便物

樹皮、きのこ、家きんの卵はち、および食用がえるを内容とするものは、第四種としての取扱いを廃止し（これは改正後第一種となる）新しく学術刊行物（学術に関する団体がその目的を達成するため継続して年一回以上発行する学術に関する刊行物であつて発行人または売りさばき人から差し出されるもの）を内容とするものを、第四種として低料扱いすることになります。

(5)第五種郵便物

第一種郵便物に統合し廃止されます。

三、郵便物の容積、重量制限の改正

郵便物の取扱い作業を容易にし、流れをスムースにするため容積、重量の最大限を引き下げ、最小限が引き上げられます。

(1)最大限

ア　通常郵便物

長さ　四五センチ（旧）
　　四〇センチ（新）
幅　三〇センチ（旧）
　　二七センチ（新）
厚さ　一五センチ（旧）
　　一〇センチ（新）

また第一種郵便物の重量最大限六キログラムを四キログラムに改められます。

イ　小包郵便物

長さ　一一〇センチ（旧）
　　一〇〇センチ（新）
長さ・幅・厚さの合計
　　二〇〇センチ（旧）
　　一五〇センチ（新）

(2)最小限

長さ　一二センチ（旧）
　　一四センチ（新）
幅　七センチ（旧）
　　九センチ（新）

この大きさに達しないものを郵便として差し出すときは従来どおり名札をつけなければなりませんが、名札の大きさが長さ一二センチ（従来一〇センチ）幅六センチ（従来四センチ）になります。

ただし、昭和四十三年十二月三十一日までは、これまでの最小限のものでも、そのまま取り扱います。（つづく）

経験

私の三女が夏休み中に友だちから呼びかけられて、同級会の世話をし始めたのは炎暑の七月末日頃だつたと思う。自分たちからはじめられた仕事でもあるからか、高校の補修課外そこのけしての熱の入れ方である。人を自宅によんでは打合せし、自分も友人宅を訪問しての努力は側で見ていても涙ぐましい。返信葉書の出欠に一喜一憂しているのがむごくて私はつい口を出した。「およびする先生の都合は聞いたか」「もし出席と書いてよこした者が欠席した時の処置は？」「なぜお盆にひらかないのか？」など一つ一つ聞いてみると、どれも危なつかしい答である。たつた三〇〇円ぐらいの会費の十六～十七才の中学校卒業生の集いの中にもこの苦しみがある。私はそれでいいと思う。こんなつまづきがあり、困りごとを乗り越えて人間の巾が出来ていくもんだと思う。よく自分一人分つたようなことを言う三女も自分の目や判断力の甘さを知つたことであるかも知れないが、ここから一つ踏台に足をかけこの同級会なるものに上ることが出来よう。

八月十三日はこの会を開く。ささやかであつてもいい。実のある会を祈ろう。休み中、ふと感じた親心である。

西野小学校長　古川　一郎

北海道に研修生

県教育庁が実施する国内研修旅行に大字西山字追木の水野一美君が参加します。旅行先は北海道江別市の酪農地帯で、八月二十三日より九月十七日まで現地農家の宿泊研修や整理のための事後研修が行なわれます。

おめでた

七月
青生野　岡部　謙一　父喜一郎
田ノ上　蛭田　浩幸　〃政光
西野沢　芳賀みどり　〃忠雄
八月
青生野　瀬谷紀里子　父政義
内ケ竜　宗田　先子　〃秀郎

おくやみ

八月
広畑　蛭田要之助76　一治
前押野　緑川　春光57　花枝
新宿　佐藤　キヨ65　幸一
滝　須藤　タツ66　久

あとがき

低温のため生育が遅れ心配された稲もようやく出穂を迎えホツトさせられました。なんと言つても本村農産物収入代金の王座を占める米です。豊凶は大きく村の経済を左右します。農協が進めている営農類型別にモデル農家を設定する研究会でも、米の占める比率は大きいようで、政府が価格を保障している現段階ではいちばん有利な作物でしよう。豊作であることを祈ります。（鈴木　一）